

SHIMOIGUSA LIBRARY

名作
大庫

名作
大庫

いまこそ教養！

「名作文庫」通信



新刊案内・・・・・・・・・・P1
特集展示【清張をとりまく人々】P2
名作文庫いざない圖書・・・P3-P4
作家紹介【宮沢賢治】・・・P5-P6

名作
大庫

平成 30 年 春号

名作
大庫

SHIMOIGUSA LIBRARY

文学講座コラボ企画

特集 「清張をとりまく人々」

純文学・推理小説・時代もの・ノンフィクション・古代史など、ひとつのジャンルにおさまりきれない作家「松本清張」に、影響を与えた文豪達。



【黒猫・アッシャー家の崩壊】

エドガー・アラン・ポー／著 巽孝之／訳 新潮文庫／刊

詩人であり、推理小説の祖である、アメリカが生んだ鬼才、ポーの怪奇幻想小説のみを集めた短篇集。美しい文章でつづられた、不気味で、緊迫感のある「ポーの世界」を堪能できる。



【蜘蛛の糸・杜子春】

芥川龍之介／著 新潮文庫／刊

「蜘蛛の糸」「杜子春」「アグニの神」など収録。皮肉屋の印象の強い芥川だが、世間や人間に対する鋭い洞察の中に、厭味のないユーモアがあり、芥川の優しさが垣間見える短篇集。



【藤十郎の恋・恩讐の彼方に】

菊池寛／著 新潮文庫／刊

元禄期の名優坂田藤十郎の偽りの恋を描いた「藤十郎の恋」、耶馬溪にまつわる伝説を素材に、仇討ちをその非人間性のゆえに否定した「恩讐の彼方に」など、初期の歴史作品を収める。

新しく入った本

こちらで紹介しているのは所蔵図書の一部です。



【バートン版千夜一夜物語】 (全11巻)

大場正史／訳 ちくま文庫／刊

富と権力と色欲を追い求め、運命の波に奔走される人間達。世界最大の奇書『千夜一夜物語』に、鬼才バートン卿が渾身の名訳を施した魅惑の書。めくるめく官能と陶酔に彩られた、絢爛たるアラビアンナイトの世界。



【一九八四年】

ジョージ・オーウェル／著 高橋和久／訳 ハヤカワepi文庫／刊

〈ビッグ・ブラザー〉率いる党が支配する全体主義的近未来。ウィンストン・スミスは奔放な美女ジュリアと出会ったことを契機に、伝説的な裏切り者が組織したと噂される反政府地下活動に惹かれるようになるが……。



【西遊記】 (全10巻)

呉承恩／著 中野美代子／訳 岩波文庫／刊

七世紀の玄奘三蔵による仏教経典取得の旅行記『大唐西域記』から生まれ、その後、民間で発達した逸話を、明代になってまとめられた中国四大奇書の1つ。第一巻は悟空の誕生から、天宮で傍若無人に振る舞うさまを描く。

いざない図書の見どころと、いざない図書の中で紹介されている名作文庫

友情と正義の物語って本当か？

【走れメロス】 太宰治/著 新潮文庫/刊

「邪智暴虐の王」への人質として差し出した友人・セリヌンティウスの信頼に報いるために、メロスがひたすら走り続ける。20ページにもみたくない話だが、色々な解釈の出来る、奥深い短篇作品集。



ゲイフィクションという視点

【ロング・グッドバイ】 レイモンド・チャンドラー/著

村上春樹/訳 ハヤカワ・ミステリ文庫/刊

私立探偵フィリップ・マーロウは、億万長者の娘の夫テリー・レノックスと知り合う。やがてレノックスは妻殺しの容疑をかけられ、自殺を遂げてしまう。



トリックの破綻も解説！？

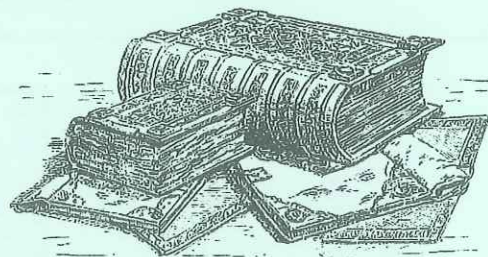
【点と線】 松本清張/著 新潮文庫/刊

海岸で発見された、男女の情死体に疑問を抱いた二人の刑事が奔走する。列車時刻表を駆使したリアスティックな状況設定で、推理小説界に「社会派」の新風を吹きこみ、空前の推理小説ブームを呼んだ秀作。



名作文庫 | いざない | 現代図書

名作文庫は敷居が高い、難しそう、などなど…今まで名作文庫を読んだことのない方や、もっと名作文庫を楽しみたい方に、名作文庫にいざなう現代本を紹介します。



【文庫解説ワンダーランド】

おすすめいざない図書

斉藤美奈子/著 岩波新書/刊



文庫本の巻末にある「解説」あの解説は何の為にあるんだろう？

本文のおまけに過ぎない「解説」を批評する、ありそうでなかった本。作品の陰に隠れ、スポットの当たらなかつた「解説」には、役に立つ解説もあれば、んん？と首をひねりたくなるような解説もある。あの名作にこの解説！各社の文庫の解説を俎上に載せ、快刀乱麻を断つ痛快な書。

生と死と幻想の表現者

みやざわ けんじ

宮沢賢治

今号の作家紹介

本名 宮澤賢治(みやざわ けんじ)

1806年8月27日～1933年9月21日

岩手県稗貫郡里川口村(現・花巻市豊沢町) 生誕

大正、昭和にかけて東北地方、主に岩手県を拠点として活動した作家。詩人、童話作家としての知名度が高く、『やまなし』『どんぐりと山猫』『銀河鉄道の夜』など、今も親しまれる作品を多数発表し、現代の作家にも影響を及ぼしている。地質学者、音楽家など作家以外にも多彩な活動を行っていた他、農業指導者として農家の田畑や作物、肥料などに関する相談を生徒続け、多くの人に惜しまれる人生を送った。

なぜこの作家がすごいのか？

宮沢賢治は、いわゆる「文豪」と呼ばれる作家ではない。出版社や編集者がついて作品を発表したのではない。彼は東北の大地を歩き、そこに広がる星空や鉱物を観察することで作品を作り上げた。音に色を感じたという賢治は、近年の研究で「共感覚者」ではないかと言われている。その鋭敏な感性により、美しく不思議に満ちた世界を生み出した稀有な作家である。



この作家の代表作

父は不在、母は病床にあり、貧しい少年ジヨバンニは、星まつりの夜、ふと気が付くと銀河鉄道に乗っているのだ。不思議な列車の中でジヨバンニは友人カンパネルラに会い、幻想的な世界を巡り始める。しかし、現実に戻ると、カムパネルラはすでにこの世の人ではなかった。本当の幸せとは何かを問う、著者晩年の集大成にして未完の最高傑作。



「銀河鉄道の夜」

岩波文庫刊

初めて読むなら

強い風と共に転校してきた高田三郎。子どもたちは彼を風の神「又三郎」ではないかと怪しむ。様々な事件を通じて漸く親しみを覚えた頃、彼は突然転校してしまう。少年たちの心に深く刻みこまれた幻想的な日々を描く表題作の他に、「やまなし」「貝の火」「グスコブドリの伝記」など、十六篇を収録。絵本になっている童話も多く、親しみやすい一冊。



「新編風の又三郎」

新潮文庫刊

こちらもおすすめ

猟に来た二人の紳士が迷い込んだ謎の料理店。言われるままに注文通りの姿になった二人を待っていたのは……。表題作の他、十九篇を収録。――スタッフ感想――「注文の多い料理店」の冒頭に書かれた短い「序」を読むだけでも、ここに描かれる世界の美しさに思いを馳せる。イーハトヴという桃源郷を堪能しました。



「注文の多い料理店」

新潮文庫刊



SHIMOIGUSA LIBRARY



名作
大庫



名作
大庫

下井草図書館には、「名作文庫」の棚があります。
一度は読んでおきたい、古今東西の名著名作を、
文庫版、新書版で集めた本棚です。



名作
大庫

季刊名作文庫通信 3.6.9.12月発行



名作
大庫

MASTERPIECE COLLECTION

